

## はじめに



本市は、東に伊勢湾、西に鈴鹿山脈と恵まれた自然環境の中であり、また、城下町、旧東海道・旧伊勢街道の宿場町、港町として栄えた地域もあるように歴史的資源にも恵まれています。こうした風土と中部圏・近畿圏を結ぶ交通の要衝に位置するという地理的優位性のもとで、自動車産業など多くの企業を誘致し、伊勢湾沿岸地域有数の内陸工業都市として発展してきました。また、農業においても、恵まれた豊かな大地で、茶や花木をはじめ、水稲などの生産が活発に行われ、農工の調和のとれた「緑の工都」として発展してまいりました。

しかし、近年では、地球の温暖化による異常気象や生物種の減少など、地球規模での環境問題が深刻化しており、その関心が一層高まっています。このような中で、安全で快適な環境を創出し、私たちの生活にやすらぎとうるおいをもたらしてくれる「緑」の存在があらためて注目されています。

本市においても、都市としての発展とともに、山々や農地の緑が失われてきたのは確かです。私たちには、先人たちが守り築いた緑を、私たちが共有する貴重な財産として受け継ぎ、さらにそれらを良好なものとし、次代に残していく責務があります。また、緑を主体とした良好な環境や美しい景観のまちづくりを推進することが必要であると考えます。

そこでこのたび、本市の貴重な緑の保全や活用、都市公園の整備、まちの緑化推進を総合的に進めるための指針として、「鈴鹿市緑の基本計画」を策定いたしました。

21世紀は環境の世紀といわれ、これまで以上に緑をまちづくりの重要な要素としてとらえ、まちづくりの主役である市民の皆様とともに、本計画のテーマである「緑あふれる心やすらぐまち『すずか』」の実現に努めてまいりたいと考えております。今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後に、計画の策定にあたりましては、アンケート等により貴重なご意見をいただきました市民の皆様、鈴鹿市緑の基本計画策定委員会の委員の皆様、並びにご協力をいただいた多くの皆様に対し、心から感謝申し上げます。

平成18年4月

鈴鹿市長 川岸 光男